

2018 年度青島日本人会 総会

議 案 書

2018 年 4 月 14 日(土)
16 時～17 時 30 分
於:威斯汀大酒店

第 1 号議案 2017 年度事業活動報告

- (1)全 般
- (2)商 工 会
- (3)生活文化会
- (4)青島日本人学校運営理事会

第 2 号議案 2017 年度 会計報告

第 3 号議案 2017 年度 会計監査報告

第 4 号議案 2018 年度理事及び監事選任

第 5 号議案 2018 年度事業活動計画

- (1)全 般
- (2)商 工 会
- (3)生活文化会
- (4)青島日本人学校運営理事会

第 6 号議案 2018 年度 収支予算案

以上

第1号議案

(1) 2017年度活動報告(全般)

青島日本人会会長
能勢 稔彦

1. はじめに

会員の皆様には日頃より青島日本人会の運営、活動に多大なる御理解と御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。本日は御多忙にも関わらず本総会に御参加頂き、誠に有難う御座います。

2017年度も無事終了しました。振り返ると、国際社会は、トランプ米大統領に振り回された一年だったと言えるかもしれません。ただ中国に目を向ければ、5年に一度の中国共産党大会が終了し、習近平総書記が党の「核心」として2期目をスタート、先月5日に開幕した全人代では、高成長より質の高い成長を目指すため、引き続き過剰債務・設備の削減等の構造改革を進めながら、消費拡大・国民生活の向上を図り、持続可能な成長ペースへの減速を許容する方針が示されました。

世界経済を牽引する中国経済が、今後も引き続き良好な状態を維持していけることが示されたことは、世界経済に対し非常に良い影響を与えていると言えるでしょう。

このような状況下、日中友好ムードが以前にも増して高まって来ており、中国で活動する我々にとっては、フォローの風が吹き始めていると言えます。ただ一方で、環境対策強化や人件費高騰で、生産コストが大幅に上昇、さらに昨今の貿易摩擦も加わって、決して楽観的な状況でないのも事実です。

これらの壁を打破していく上でも、中国市場と真剣に向き合うことが重要だと思います。昨今、中国主導にて、EVやEコマース等、次々と新たなビジネスチャンスが生まれてきています。日中の企業が、お互いに補完しながら、先ずは中国市場に真剣に取り組むことこそが企業を発展させていく上で、益々重要となってきているのを日々実感しています。

2. 青島日本人会の活動について

このような状況の中、我々青島日本人会は、明るく元気な日本人コミュニティを、青島に根付かせ、発展させてゆくことを使命として、今年も活動してまいりました。

2017年度の活動内容につきましては、後ほど、各理事より御報告させていただきますが、会員皆様の御支援、御参画のもと、ほぼ全ての計画を予定通りに実施することが出来ました。

商工会のセミナー、各部会の交流活動はじめ、毎年恒例の納涼祭には400名、新年会は総勢300名の会員さまの御参加を得ました。また、日本人学校御協力の下開催しました10月の運動会では、150名近い皆様が御参加下さり、非常に盛り上がったものとなりました。

喫緊の課題であった緊急連絡網の整備と会員皆様へのメール送信問題につきましても、会員様の御協力の御蔭で、より実効性の高いものに改善出来たと考えております。

また、会員企業様の減少を受け、現体制を維持したままでの日本人会運営は、今後支障を来す可能性もあると予見されることから、運営面でのやり方を見直すことに着手しました。本件は、次期日本人会に引継ぎ、議論・決定して頂く事になっております。また、チンダオ日本人会を良く知る方々の帰国が続いている事もあり、運営強化を目的として、日本人事務局にて、非常勤のスタッフを一名雇用しました。

新年度も商工会と各部会、生活文化会、日本人学校、婦人会、公認同好会などそれぞれが多彩な活動計画をもって皆さまにお声掛けをさせて頂く事となりますので、御支援、御協力をお願い申し上げ、活動報告とさせていただきます。

(2) 商工会 活動報告

商工会会長 吉川 宙
副会長 小松 宏彦、正村 匡、松沢 隆
佐藤 冬樹、佐藤 秀二

1. 活動実績報告

青島日本人会商工会は、企業活動に関わる有効な情報交換の機会を提供する事を主要目的として活動しています。具体的には、会員企業の業種、業態に応じ、分野別に4つの部会を設け、各部会内での情報交換や交流会、社外見学会などを実施。もう一つは、会員さまの関心の高そうな、又は事業活動に役に立つであろうテーマを選定し、専門講師によるセミナーを通じて、それらの情報発信などを行いました。

各部会の活動実績につきましては、各部会長からご報告をお願いする事とし、私からは今年度実施したセミナーおよびその他の活動内容について、ご報告させていただきます。

2. 活動内容

(1) セミナー

① 第1回(5/17 ジェトロ共催)

『中国ビジネスの基礎知識と最近の会計・税務トピックス』

PWC 北京事務所 高谷 将徳 氏

PWC 青島事務所 後藤 洋一 氏

『外国人就労許可新制度の解説』

ジェトロ青島事務所 佐藤 秀二 所長

② 第2回(7/7 ジェトロ共催)

『不良債権を避けるための与信、契約、債権の回収ポイント』

北京市天達共和法律事務所 章 啓龍 氏

- ③ 第3回(9/8 ジェトロ共催)
『日系企業でも享受できる優遇政策および最近の税務トピックス』
デロイト中国北京事務所 浦野 卓矢 氏
- ④ 第4回(11/24 ジェトロ共催)
『最近の中国金融経済情勢について』
日本銀行北京事務所 和田 健治 所長
- ⑤ 第5回(12/14 ジェトロ共催)
『中国の環境規制および安全生産に対する管理強化への対応』
北京市天達共和法律事務所 章 啓龍 氏
- ⑥ 第6回(1/24)
『一気に解説！今さら聞けない Wechat と Alipay～利用方法とそのリスク～』
大地法律事務所 熊 琳 氏
- ⑦ 第7回(3/6 青島総領事館共催)
『中国で事業を展開することに伴う法的リスクと留意点』
森・濱田松本法律事務所 石本 茂彦 氏、鈴木 幹太 氏

(2)その他活動

12/5 『膠州市投資環境(青島新空港建設現場ほか)視察』など

3. 総括

商工会では、会員企業の中国での事業発展、円滑化に役立つ活動を心掛け行って参りました。従来から実施している主力活動であるセミナーは、合計7回実施しました。セミナーにおいては、税務、法務、中国経済動向に関するテーマのほか債権回収管理など会員企業の事業活動に直結する情報の提供を行うと共に、昨今注目されている外国人就労許可、環境規制対応や Wechat、アリペイなどの電子マネー等、タイムリーなテーマも取り上げるよう努めました。

また、セミナー以外の活動として、膠州日本人会のご協力のもと膠州地区の投資環境視察会を実施し、開発区、青島新空港建設現場などの見学や膠州市政府との交流などの活動を行いました。まだ改善や工夫の余地もあると考えておりますが、1年を通じ相応の活動成果があったものと考えております。

なお、総領事館には、商工会活動へ多大なご協力、ご支援を頂きました。セミナー講師のご手配、中国各種団体との交流機会のご提供、天然ガス使用制限などの会員企業の事業に支障をきたす事象発生時へ対応など各種サポートに、この場を借りて感謝申し上げます。そして、総領事館におかれては、引き続き商工会活動へのご支援をお願いしたいと考えております。

最後に、セミナー開催、その他商工会活動にご協力を賜りました JETRO 青島、膠州、

黄島、城陽、即墨の各地区日本人会の皆さま、そして業務ご多忙のなか、商工会活動にご参加賜りました会員企業の皆さまに深く感謝申し上げます、私の報告とさせていただきます。ありがとうございました。

《食品部会》

部会長 小松 宏彦

副部会長 別所 良起、前田 裕之、宮本 典和

1. 2017 年度活動報告概要

2017 年度の食品部会は「食品安全」と「現場を学ぶ」の 2 つの切り口で活動を企画し、会員の皆さま、訪問させていただきました企業さま、ご講演いただきました各界講師の皆さま等々の関係各位のご理解とご協力・ご支援によって、工場見学を 1 回と、セミナー 2 回の、計 3 回の部会を開催し、多数の皆さまにご参加いただくことができました。

ご協力頂いた皆さまとご参加いただいた会員の皆さまに、この場をお借りして、厚く御礼を申し上げます。

2. 活動実績

- ① 第 1 回部会(6 月 23 日:金) 山東山孚日水有限公司(黄島開発区) 工場見学
日本向け冷凍食品の製造、品質管理などを見学 (26 名が参加)
黄島開発区「紅葉」にて懇親会(25 名参加)
- ② 第 2 回部会(12 月 1 日:金) クラウンプラザホテルにてセミナー
セミナー「中国の生鮮野菜・食品の流通再編とバリューチェーン」
講師:大東文化大教授 森 路未央 先生 (32 名参加)
「吉宗」にて懇親会(22 名参加)
- ③ 第 3 回部会(3 月 9 日:金) クラウンプラザホテルにてセミナー
セミナー「中国におけるフードチェーンを巡る状況」
講師:在北京日本国大使館 経済部 伊藤 優志 参事官 (30 名参加)
「ヴェルデ」にて懇親会(19 名参加)

3. 2018 年度の活動方針

2018 年度についても、前年同様に、食品関連企業・関連施設等の見学と、食品関係の情報発信の 2 つを活動の中心に据えて、年 3~4 回の活動を企画していきます。情報発信に関しましては、引き続き在青島日本総領事館、JETRO 青島事務所、在中国日本大使館等と連携を密にして、会員の皆様に有用な情報をタイムリーに発信していきます。毎回の部会の後は懇親会を設定し、積極的な会員間の交流・親睦を図っていきます。

以上の 3 つの活動方針のもと、少しでも多くの会員さまに参加いただけるよう活動していく所存ですので、何卒よろしく申し上げます。

《繊維部会》

部会長 正村匡

副部会長 杉田 貴史、青木 功

1. 部会開催状況

2017年度は、年3回の開催を目標とし、8月、12月、3月の計3回部会を実施しました。
今年度は、2回の市内のホテルでの開催、1回の工場見学、すべて部会終了後に懇親会も開催し、相互交流を深めました。

① 第1回 8月29日(火)

会議場所:クラウンプラザ 3F 会議室

懇親会:牡丹亭

② 第2回 12月8日(金)

工場見学:青島四方川崎車輛技術有限公司(中国中社のグループ会社)(城陽区)

懇親会:牡丹亭

③ 第3回 3月27日(火)

会議場所:クラウンプラザ 3F 会議室

懇親会:ホルモン酒場

2. 活動内容

第1回目は、新年度の初めての部会と言う事で、本年度の運営方針、年間予定等の報告・確認を致しました。

また、参加頂いた各部会メンバーより、会社の紹介も含め自己紹介して頂きました。

更に、カケン様から、「家庭用品品質表示方の改正」というテーマで、2017年4月から一部改正された項目の説明をして頂きました。

第2回目は、異業種交流という事で、城陽区の青島四方車輛技術有限公司のご協力により、中国鉄道車輛製造最大手の中国中車の鉄道車輛製造工程の一部の工場見学をさせて頂きました。

新幹線製造を含む、国家戦略の中国鉄道車輛の国営の工場を外国人に見せて頂けたことは、貴重な経験であると同時に、工場内の隅々まで整理整頓された管理手法は、この大規模の工場でも可能であり、感心させられ、業種は違えども、製造業をする方々にとっては、非常に勉強になった工場見学であったと思います。

第3回目は、JETRO様から、2017年度のアジア(特に中国)の日系企業実態報告をデータを下にご報告頂きました。昨年度との比較ができ、中国内での繊維関連日系企業の厳しい実態を再認識する事ができました。

更に、6月に青島で開催される、上海協力機構会議に向けての現況報告・注意点等の報告も受けました。

また、中国小売り市場に挑戦され実績をあげられている2社様(上海嘉都麗時裝貿易有

限公司の吉田総経理、青島丸治皮革製品有限会社の徳水総経理)から、苦労話も含め、実体験を報告して頂き、厳しい中でも、伸び行く市場に対しての可能性を教えて頂き、非常に参考となりました。

3. 2018 年度の活動方針、抱負

日本の繊維業界が非常に厳しい状況が故に、こんな時こそ部会メンバーの情報交流を更に深めたいと考えており、年 3 回の繊維部会を 2018 年度も予定しております。

第 1 回目は 6 月を考えており、第 2 回目、3 回目の日程もまだ未定ですが、2 回目は、今年度も異業種交流として、異業種の工場見学等の、報告会形式の会義形式ではなく、現場での視察等を検討しております。

繊維業界が非常に厳しい環境下、また皆様お忙しい中で部会に参加して頂くこととなりますので、部会では、業界に参考になる情報提供、もしくは情報交換の機会を作り、参加メンバーにとって有意義な部会とできるよう、幹部で色々と考えていきたいと思っておりますので、今年度も何卒宜しくお願い致します。

《機械・電機・化学部会》

部会長 松沢隆

副部会長 武田裕之、端彰一郎、野上卓志、前田逸朗

1. 部会開催状況・活動内容

第 1 回部会(8 月 10 日:木) ベルデ
会社紹介・懇談会 参加者 10 名

2. 総括

第一回目はベルデ様の 2 階をお借りして、会員各社の自社紹介・PR など懇談会を実施し、その後、同会場で懇親会を実施致しました。

第二回目は、工場見学を予定いたしましたが、会員企業様の都合を併せることが出来ず、実施することが叶いませんでした。

3. 2018 度の活動について

機械・電機・化学部会では、会員企業様の事業領域が多岐に渡り、共通の課題を見出しづらいこと、青島市外に拠点を構える企業が多いこと、比較的業務負荷が高く、特に出張やアテンドが多いことから時間的な制約が多いこと、以上のことから部会開催が容易でない状況にあります。

日本人会の主旨である「円滑な企業活動」の負担になることなく、一方で、「会員企業の親睦・福利の向上、もしくは知識向上の機会」をどのような形で部会として提供すべきか、部会員の要望を聞きながら、今後の方向性を決めて参ります。

《流通サービス部会》

部会長 佐藤 冬樹

副部会長 井上 薫、川田 正博、藤井伸明

1. 総括

流通サービス部会は運輸、倉庫、小売、各種サービス、金融など、業種が極めて多岐にわたります。他の部会と異なり、部会固有の課題を見つけるのが大変ななか、なるべく皆様に興味を持っていただけるようなテーマの講演や、会員の知見を深める見学活動などを企画するよう努めております。また、皆様の交流の場としてもぜひご活用いただければと考えております。

2017年度は、以下の通り計2回の部会活動を行いました。

- ① 第1回部会(6月21日:水) 懇親会
- ② 第2回部会(1月18日:木) 西海岸新区参観及び同区国際招商局との交流会。あわせ別途市内にて懇親会

第1回は年度初めの顔合わせということもあり、市内のイタリアンレストランで懇親会を行いました。

第2回は、中国の国家級経済新区として上海・天津に次ぐ第三の大きな規模である「青島西海岸新区」を訪問。16社が参加され、劉雯書記より新区の開発、投資状況をご説明いただき、参加企業との活発な討論が行われ、新区としての今後の発展について大いに期待される訪問となりました。その他、新区全景の分かるジオラマのある規画館、東方映画基地を見学参観、ご参加いただいた会員の方々にも有益な情報であったと思います。

2. 2018年度の活動について

2017年度は、できるだけ多くの会員にご参加いただけ、会員相互の業界知見や見聞を深めることができるような活動に努めました。

次年度もこのような方向性に沿って活動して参りたいと考えています。講演のテーマや見学・訪問先について、また部会活動のあり方そのものについて、ご意見がありましたら、何なりとお寄せ頂ければ幸甚に存じます。

2018年度も3回程度の部会開催を予定しています。第1回(5月～6月中の開催を予定)は年度初めの顔合わせの意味もあり、懇親会を中心とした活動を予定しております。ぜひ会員の皆さまの多数参加をお待ちしております。

(3) 生活文化会 活動報告

生活文化会会長 森 賢司
副会長 岩崎克彦、川田正博
酒井康雄、矢部千尋、福永護

1. はじめに

生活文化会は青島日本人会という日系コミュニティの融和と繁栄を目的に、会員各位の青島での充実した潤いのある生活の実現を図るため、在青島日本国総領事館、青島日本人会所属の各部会、青島日本人学校等と連携して各種の親睦活動、生活文化関連のさまざまな取り組みを行っております。

生活文化会には、「婦人会」、「7つの同好会(2017年4月1日現在)」が帰属し、それぞれが青島において活発な活動・運営を継続しており、これらの活動・運営への支援を行っております。

他方、地域図書館「ちんたお文庫」の活性化と運営全般、生活情報配信「月刊青島」の運営・編集にも密接に携わりながら協力・支援を続けています。

また、日本人会の皆さまの安全を確保し、快適な青島での生活を送っていただくため、在青島日本国総領事館と連携し、安全関連情報の収集、配信にも努めています。

2. 主な行事活動

2017年度におきましても、昨年度同様、生活文化会主催でさまざまな行事を企画し、会員の皆さまのご理解を賜り、ご協力、ご支援を得ながら各行事を進めてまいりました。2017年度に生活文化会が取り組みました主な活動につき以下、報告申し上げます。

① 納涼祭り 8月26日(土)

「子供たちのために、子供たちが喜ぶイベント」として始まったこの納涼祭も本年で5年目を迎え、麗晶大酒店(リージェンシーホテル)の屋上テニスコートにて中国人の方も含めて約400名の方々に参加いただき、盛大に開催することができました。祭り当日は炎天下の中での開催となりましたが、「焼きそば」、「お好み焼き」をはじめとし、初出店となった「おでん」「はなまるうどん」「フランクフルト」の屋台に加え、ここ青島にある有名店の美味しい料理に舌鼓を打ち、夏祭りの定番である「金魚すくい」、「スーパーボールすくい」、「ヨーヨー釣り」、「ストラックアウト」や「すいか割り」、「輪投げ」、「ぬいぐるみパチンコ」などのゲームは、最初から最後まで子供たちの笑顔と熱気に包まれました。

祭り中盤の盆踊りでは、PTA や婦人会、日本人学校の方々にご指導ご協力をいただき、大人と子供が一体となり、祭りはフィナーレを迎え、ご家族揃って日本の夏祭りを十分に満喫していただけたのではないかと思います。

② 青島日本人会運動会 10月21日(土)

昨年同様、青島日本人学校の体育館にて開催。当日は150名を超える方々にご参加いただき、東日本、中日本、西日本をベースとした3組によるチーム対抗戦で、ビーチボールバレー、未就学児童による20m競争、障害物競走、玉入れ競争、また、今回新たに企画された長縄跳びの他、借物競争、チーム対抗リレーと各種競技に熱戦を繰り広げました。最後のプログラムとなった綱引きではチーム全員が一つになり、各組が死力を振り絞った稀に見る熱戦となりました。最後まであきらめずに綱を引く姿は、競技に参加している人、応援している人の一体感を最高潮に高め、最終種目に相応しい盛り上がりとなり、逆転に次ぐ、逆転で最後まで優勝の行方がわからない白熱した運動会となりました。他の競技でも、ご家族揃ってご参加される姿も多く、非常に楽しい時間を過ごすことができました。

③ 第5回青島ジャパンデイ 11月4日(土)～11月5日(日)

昨年に引き続き、青島日本人会、在青島日本国総領事館、JETRO、青島イオン等の主催により、青島イオン東部店の1階特設イベントスペースにてジャパンデイが開催されました。会員企業を含む15以上の日系企業や団体が日本食、日本製品などのブースを出展。日本の地方自治体からの関係者も出展し、それぞれの観光地や特産品の紹介、華道・柔道のデモンストレーションによる日本文化の紹介を行いました。

両日ともに、多くの中国人来場者がブースを訪問し、試食や実際に商品を手に取り、日本への関心が高まったものと実感しました。中国人の訪日人数は増加しており「爆買い」への注目度も高まっておりますが、まだ訪日されていない方々へのジャパンプランドの紹介、訪日観光の促進、日本文化を知る機会、日本食の魅力等を発信する目的は十分果たせたと思います。

④ 新年会 1月13日(土)

青島日本人会最大のイベントである新年会を、今年も青島香格里拉大酒店(シャングリラホテル)にて開催いたしました。大人・子供合わせて約300名の会員の方々にご参加いただき盛大な会となりました。開演前の「餅つき」に始まり、オープニングの獅子舞、恒例の日本人学校生徒による迫力ある和太鼓演奏、と楽しい出し物で幕を開け、ゲーム大会においては、子供達による羽根つき大会、ベイブレード大会や参加者全員参加での〇×クイズでさらに盛り上がり、声楽、ピアノ演奏披露では神聖なムードに会場が包まれました。そしてクライマックスの豪華景品が当たる「プレミアム抽選会」では会員企業様からご提供いただきました商品の当選番号が発表されるたびに歓声が沸き上がり、大人も子供も家族みんなの笑顔が絶えない、アットホームな雰囲気の中にも例年以上に盛り上がった新年会になりました。

3. 総括

2017年度に実施した納涼祭り、運動会、青島ジャパンデイ、新年会の開催にあたっては、さまざまなご支援、ご協力をいただいた関係各位、まだまだ経済環境厳しいなか多くの景品をご提供いただいた会員企業の皆さま、開催前の事前準備、当日朝早くから会

場で準備頂いた皆さま、会運営にご協力いただいた婦人会、同好会、日本人学校の先生方をはじめとするボランティアの皆さまのお蔭で、会員相互の交流、親睦を深める非常に有意義な行事とすることができましたことをあらためて御礼申し上げます。引き続き生活文化会の活動につきましてご理解を賜り、ご協力、ご支援、またご参加を頂戴したくよろしくお願い申し上げます。

また、上記以外に生活文化会としましては情報誌である「月刊青島」を発刊するとともに、日本人が多く住んでいる銀都花園にある「ちんたお文庫」を運営しております。さらに、婦人会の活動、ゴルフ、テニス、ソフトボール、ヨット、卓球の体育会系同好会と写真、青島歴史研究会の文化系同好会、そして昨今の大气汚染など私ども青島に住む生活者の安全という面で総領事館と連携しながら活動しています。以下にそれらの活動報告を載せましたので、ご一読いただければ幸いです。

今後とも会員皆様のご支援でより有意義な活動を行っていただけるよう取り組んでまいりますので、引き続きご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

《ちんたお文庫活動報告》

前期役員 西村、松田、熊谷

後期役員 西村、松田、古田

・児童書コーナーでお勧め本の紹介(月 1 回)

1. 今年度活動報告

・役員会(日本人会にて 2 回)

・ちんたお文庫ボランティア(2018 年 3 月現在登録者 14 名)による文庫内の大掃除の実施
第 1 回:5 月 24 日参加数 15 名 第 2 回:11 月 22 日参加数

文庫蔵書総数 およそ 6,700 冊

新規会員年間総数 21 人

年間利用者延べ数 953 人

寄贈本年間冊数 406 冊

2. 役員活動内容

・アルバイトへの仕事内容指示、チェック(随時)

・アルバイト休みの際の開館(1 月 20 日、27 日、2 月 3 日、10 日)

・文庫休館のお知らせ作成

・文庫内の大掃除の計画・実施

・蔵書整理(古い本の処分など)

・帰国者などの管理(利用者カード・ボランティア名簿)

・利用者状況調査(月 1 回集計・日本人会へ報告)

・各情報誌における施設利用案内掲載についての連絡・調整(月 1 回)

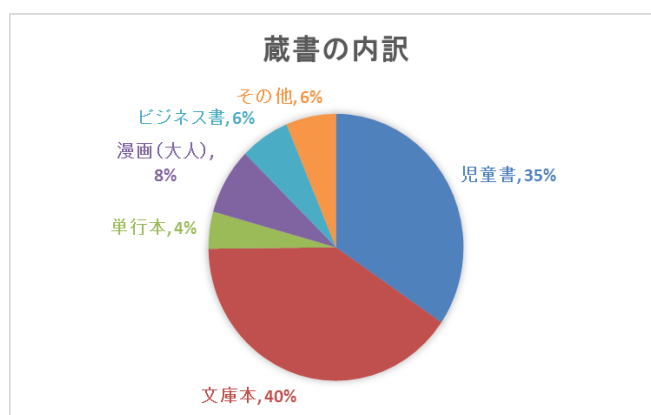
- ・ちんたお文庫内にてイベントの開催
(毎月1回の読み聞かせとストーリーテリング)
- ・月刊青島『ちんたお文庫便り』の掲載(2016年4月より季刊発信)
内容:おすすめ児童書、新着登録本の紹介、利用案内、子ども文庫ぷくぷくさんの紹介等
- ・玄関鍵故障時、水漏れ時の対応
- ・備品購入(掃除用具)

3. 総括

開館日、開館時間共に、昨年同様、週3日間(金、土、日)、計16時間で運営しましたが、昨年に比べ来館者数がおよそ20%減少しました。文庫蔵書の整理においては、昨年同様、

年2回のボランティアによる大掃除で整理・整頓を行い、安全、見易さに配慮したレイアウトを維持しました。役員とアルバイトが簡単に連絡をとれる体制を取っているため、何か問題が起きた時(鍵の故障、寄贈本の相談等)には、すぐに対応することができました。

また、子ども文庫ぷくぷくさんの月1回の読み聞かせは、日本語に触れる機会の少ない青島在住の未就学児にとって貴重な活動であり、多くの親子がちんたお文庫へ足を運ぶきっかけとなっています。



4. 2018 度への課題

銀都への引越しから3年8ヶ月が経過し、ちんたお文庫の周知も進みましたが、一方で、銀都周辺に住む日本人が大幅に減少したことが、利用者減の主要因と考えられます。

また、ボランティアメンバーも、以前より、銀都周辺のお子さんがある方を中心に構成されていることもあり、周辺在住日本人の減少にともない、ボランティアメンバー自体が激減しているにもかかわらず、新規にはほとんどご参加いただけいません。

従って、現在の状態では、役員の選出が非常に困難であり、同じ方が繰り返し役員を担当しなければならなくなるため、今後幅広い範囲での日本人の方々にもご協力頂ける体制作りが必要です。

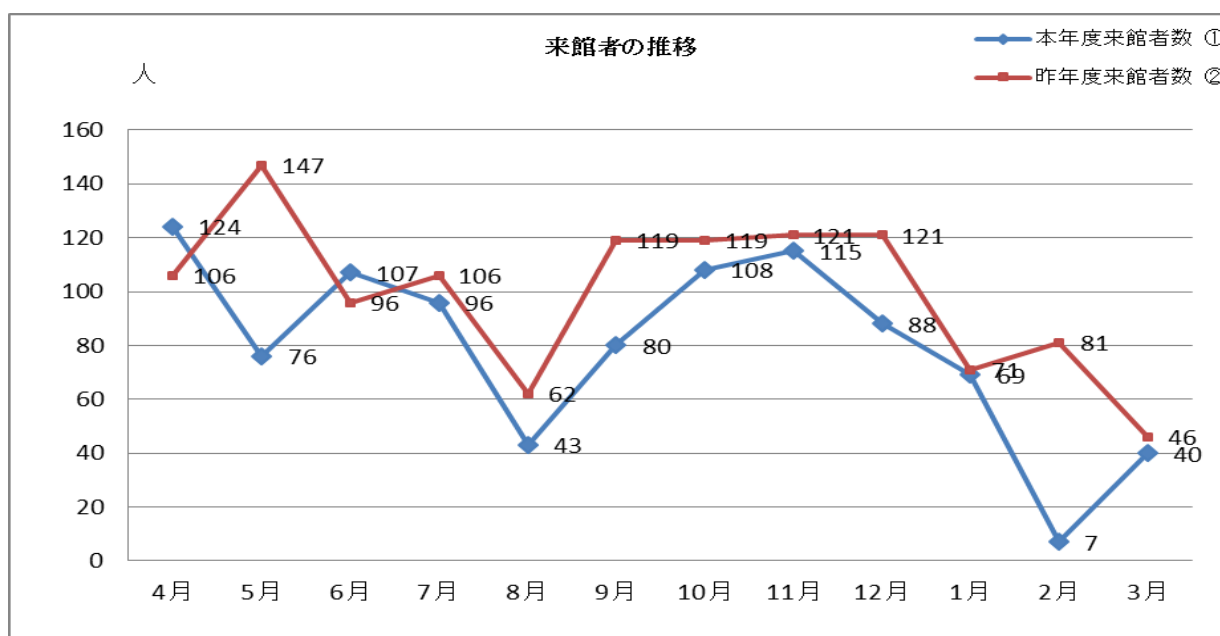
今後も利用しやすい環境の整備を行いつつ、近年の日本人の居住地の動向を踏まえながら、ちんたお文庫の在り方について早急に見直しをする必要があると思います。

また、春節近くになるとアルバイトが帰省するために、文庫の閉館期間が非常に長くなってしまい、その間の運営は役員でも対応しきれない状態です。

ちんたお文庫は、会員の皆様のご協力のもとに成り立っている図書館です。青島在住の日本人の皆さんに気持ち良く利用していただける図書館になるよう、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。また寄贈本も随時募集しております。よろしくお願いいたします。

資料:年間来館者の推移(2017年3月16日現在) ※3月は見込

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
本年度来館者数①(人)	124	76	107	96	43	80	108	115	88	69	7	40	953
昨年度来館者数②(人)	106	147	96	106	62	119	119	121	121	71	81	46	1195
増減数①-②(人)	18	-71	11	-10	-19	-39	-11	-6	-33	-2	-74	-6	-242
新規会員(人)	1	1	5	3	0	2	2	3	2	0	1	0	20
新規登録本(冊)	12	15	64	15	0	27	2	61	154	9	0	93	452



《情報誌「月刊青島」》

編集長 福永 護

青島日本人会生活文化会では、WEB情報誌の「月刊青島」を発信しています。「青島をもっと知って、もっと楽しく！」をモットーに、「あなたとつくる・つながるWEB情報」として、毎月10日を目処に発信しています。

「月刊青島」では総会、運動会、納涼祭、新年会等の日本人会の活動についての報告、総領事館・JETRO・青島日本人学校からのお知らせ、「公認同好会だより」、「婦人会通信」、「グリーン放弾」、「ちんたお文庫だより」、会員の動向等の情報を掲載しています。またOBによる料理コーナー、「ふるさと自慢」といった連載もあります。

本年も日本人会会員の皆さまの役に立つ生活情報の発信や、青島におけるご縁を大事にして多くの会員の皆さまに誌面に登場していただけるような記事を引き続き掲載していきたいと考えております。

「月刊青島」は日本人会会員の皆さまのご協力・ご支援をいただき、そして皆さまに支えられて発信を行っています。WEB情報誌の編集にご関心のある方は是非ご連絡ください。また「月刊青島」に対するご要望・ご意見、取り上げてほしい企画等がありましたらご連絡ください。

《青島歴史研究会》

青島日本人会は2010年に20周年記念として青島日本人学校の庭に石碑と植樹をしました。その節、戦前に青島で生活され、日本で青島会を主宰されている諸先輩と交流会を催し、ブログを掲載されていた足立吉弘様(故人)を中心に、戦前の日本人社会、歴史的建物の講話、見学をしてきました。また、諸先輩方より、当時の貴重な写真、会誌を提供いただき、日本人学校の一室に資料室をつくり、保存しています。

残念ながら、先輩の不幸や体調不良で、特に戦前の青島とゆかりの方は年々減少していくのは避けられません。

2017年度の交流では、戦前のOBで構成される「青島会」の解散会が11月14日グランヴィア大阪ホテルで全国から100名を超える参加者で盛大に開催されました。皆さんお元気で今回をもって解散することは仕方ないけれども名残惜しいというところを残し、万歳三唱して終了しました。なお会より日本人学校に寄付金をいただきました。

また、青島勤務を終えて日本に帰国された方々が各地で連絡をとりながら「青島会」を開いています。こちらも30周年がマジかになってきました。「青島会」と連絡を取りながら、戦前と戦後をつなぐ「青島の日本人」の足跡を残す活動を続けたいと思います。

《婦人会》

会員数:18名(2017年3月31日現在)

1. 総括

婦人会の活動としては、2016年度とあまり変わらず、4月の婦人会総会、6月と11月の定例バスツアー、12月のクリスマスが主なものとなりました。時間帯もやはり朝から昼食後2時間ぐらいまでとなっています。人数は昨年に比べ若干増えましたが、やはり青島在住の婦人に浸透しているとは言えない状況にあります。

2. 2017年度の活動報告

上記のとおり、4月の総会后、6月・11月に定例バスツアーを、また12月にはクリスマス会を実施しました。本年の連絡は引き続きWeChatを主な手段としています。これは簡便な反面、あまり長い文書は読みづらい、イベントへの参加意向につき、他の方の回答状況を見ることができるとは言えない状況にあります。

2016年度は「お買い物ツアー」的なバスツアーが続いたので、2017年度の6月ツアーは体験型のお茶摘みにしました。緑茶のできる工程を経験することができ、有意義であっ

たと感じています。また、クリスマス会には青島大学の音楽学科卒業生にギターの演奏をしてもらいました。その後は毎回のプレゼント交換方式を改め、ビンゴゲームによる賞品獲得型にしましたが、これは交換型より盛り上がったと感じています。

ももとの人数が少ないため、各イベントへの参加者もおのずと少なくなっています。少人数では楽しみも減少することから、2017年度には実費負担の形で非会員の方の参加も認めました。これは婦人会の活動をまず知っていただき、入会を勧めるためのいわば「お試し」の意味から行ったものですが、結果としては40パーセントほどの方が新たに入会してくださいました。

2017年度は宣伝活動が不十分であったことは否めません。日本人会WEB情報誌「月刊青島」の掲載は最小限になってしまいましたが、これはすべて役員の怠慢によるものと批判されてもしかたのない状況かと思えます。会員が割引やその他のメリットを受けることができる婦人会カードは、提携店舗を増やすことに努めましたが、会員の方々が使用するのに便利な店舗が選べていたかどうかというと、少し疑問が残ります。

3. 活動内容

2017年4月	総会(La Luna Rossa)	11名参加
6月	定例会(崂山茶摘み体験)	9名参加
11月	定例会(大多福食品見学)	10名参加
12月	クリスマス会(VERDE)	15名参加

※参加者には会員以外の方も含んでいます。

4. 2018年度の抱負として

現在は中国の生活も以前と較べて格段に便利なものとなっており、婦人会の果たす役割も変わらなければならない時期に来ているかと感じます。青島在住の日本人が減少しているとはいえ、まだ婦人会にご入会頂いていない在住の女性も多いかと思えます。入会されない理由には、宣伝不足に加え、会としての魅力に欠けるという2点が挙げられるかと思えますので、そのような方々が魅力的だと思ってくださる婦人会をめざして、活動も斬新なものとしていきたいと思っております。しかしながら、メンバーが少ない⇒少数意見しか聞けない⇒多数の人に魅力のある活動を考え出せない、というジレンマにも陥っています。

さらに入会されない理由の一つに、メンバーが少ないので入会したとたん役員をやらされるのではないかという懸念があるかと思えます。実際2年目になると役員の打診をすることは日常的で、快く受けてくださる方も多いですが、役員になるなら退会するという方もおられないわけではありません。

2017年度には滞りがちであった情報発信という点では、本年は大使館や青島日本人会からの情報はもとより、自ら収集した役立つ情報を発信したいと思っております。しかし、これも在住の女性の方々が必要とする情報は何かを探らなければなりませんので、日本人会総会にご参加の各位におかれましても、もしご家族からが何らかの要望が出た場合には、ぜひ婦人会にお知らせいただきたく思っております。また可能であれば、地元青島の中国人の婦人団体とも交流ができればとも考えております。

5. 2018 年度に予定している行事

婦人会総会： 4 月
定例会： 6 月、10 月
クリスマス会： 12 月

《ゴルフ同好会》

会長 正村 匡
事務局長 川畑 啓樹

1. 活動状況報告

- | | | | |
|-----------|-------------|-----------|------|
| ① 第 120 回 | 3 月 25 日(土) | 石老人ゴルフ倶楽部 | 37 名 |
| ② 第 121 回 | 5 月 20 日(土) | 東方生態体育倶楽部 | 45 名 |
| ③ 第 122 回 | 7 月 15 日(土) | 華山ゴルフ倶楽部 | 36 名 |
| ④ 第 123 回 | 9 月 9 日(土) | 海陽タイガービーチ | 59 名 |
| ⑤ 第 124 回 | 11 月 4 日(土) | 石老人ゴルフ倶楽部 | 53 名 |

延べ参加者数 230 名

2017 年度は上記の通り 5 回のコンペを開催し、2016 年度を上回る延べ 230 名の方々にご参加いただきました。

多くの方にご参加頂き、誠にありがとうございました。加えて、数多くの企業、団体、個人の皆さまから賞品をご提供いただきました。

賞品をご提供くださった皆さまにあらためて感謝の意を表しますとともに、今後も無理のない範囲で会員の皆さま方からのご協力・ご協賛をよろしくお願い申し上げます。

本年度の新しい取り組みとしては、6 月に初心者向けのゴルフ練習会を実施しました。20 名以上の方に参加いただき、それが本同好会のコンペに参加するきっかけとなった方も多数いらっしゃいました。

2. 2018 年度の活動について

2018 年度は 3 月 31 日に、『石老人ゴルフ倶楽部』にて第 125 回開幕戦を実施致しました。次回の第 126 回コンペは、5 月 20 日(土)『東方生態体育倶楽部』の予定です。今年度は、以下の日程でコンペを予定しております。

これまで参加出来なかった方々も、是非お気軽にお申込み下さい(毎回、日本人会一斉メールよりコンペのご案内を配信させていただいております)。

今年度も「敷居の高くない、誰もが楽しめるようなコンペ」を開催していくとともに、ゴルフレッスン等、若い方やゴルフ経験の少ない方にも積極的に参加していただける企画を行っていく予定です。

ベテランゴルファーの方も、初心者ゴルファーの方も、青島で新たなゴルフの魅力を発見していただけるよう、皆様のご協力のもとで運営していきます。

- | | | |
|-----------|--------------|-----------|
| ① 第 125 回 | 03 月 31 日(土) | 石老人ゴルフ倶楽部 |
| ② 第 126 回 | 05 月 19 日(土) | 東方生態体育倶楽部 |

- ③ 第 127 回 07 月 07 日(土) 華山ゴルフ倶楽部
- ④ 第 128 回 09 月 15 日(土) 海陽タイガービーチ
- ⑤ 第 129 回 11 月 24 日(土) 石老人ゴルフ倶楽部

《テニス同好会》

会長 大橋 勲

1. 会概要

目的: テニスを通して、日本人相互の親睦と心身の健康促進を図る

会員数: 2018 年 3 月現在、26 名(男性 17 名/女性 9 名)にて運営

会費: 600 元/半期(高校生以下は 300 元)

活動場所/時間: 銀都花園テニスコート、毎週日曜日 9:30~12:30

練習内容: 9:30~11:00 レベル別スクール形式での練習

11:00~12:30 レベル別試合形式での練習

(12:30~ 昼食会、但し自由参加)

2. 年間活動

定期活動: 毎週日曜日の定期練習

イベント: 4 月 チーム内紅白戦

6 月 韓国チームとの交流戦

10 月 チーム内紅白戦

11 月 ハロウィンテニス

12 月 テニスイベント、クリスマス会

対外試合: 7 月 青島市体育局杯(韓国、中国チームとの団体戦)

9 月 青島杯(青島最大の韓国、中国チームとの団体戦)

3 月 第 37 回春季クラブ対抗戦(上海)

* 送別会など帰国及び異動される方がいる場合適宜実施

【収支】

前年度繰越金 29,969 元

17 年度収入 38,820 元

17 年度支出 37,736 元

次年度繰越金 31,053 元

3. 総括

2017 年度も、ほぼ休まず毎週日曜日テニス活動を行ってまいりました。本年度も昨年に引き続き、上級者から初中級者、小学生から年配の方まで幅広く新入会員の方々が入部されました。しかし帰国されるかたも多く、昨年度より 7 名減となりましたが、活発にテニス活動を続けております。

メンバー一同は、日々技術向上を図っており、上級者については、一番のイベントである

対外試合「青網杯」において、昨年の予選突破を継続するべく強化試合を重ねてきた結果、今年度は予選を突破し、決勝トーナメントではベスト4に入ることができました。そして今年度は初めて上海で開催される日本人の団体戦に参加し、ベスト 16 まで進出することができました。また、初中級、上級者ともに、日曜日以外にも、水曜日、土曜日と有志で気軽に集って、レベルアップを図っております。

そしてテニスの追及以上に力を入れてきたのが、老若男女問わず、練習やゲーム時の一体感と、アットホームな雰囲気作りです。また定期的な懇親会やクリスマス会などのイベントを催し、テニス以外での人脈作りや情報交流の場となっています。

2018 年度は、上位チームは「青網杯」で更なる上位進出、初中級チームは、交流戦の機会を多くし、韓国、中国などと国際交流をより深めて行きたいと考えております。テニス同好会が、健康促進と憩いの場として継続するよう、会員一同の協力の元、運営していきたいと思っております。

《ソフトボール同好会》

会長 小森茂樹

1. 同好会概要

創部 20 年目になった今年も「青島生活の充実」「さらなる同好会の発展」を目的にグラウンド内外で会員相互の交流を深めました。

2017 年 12 月末現在、一般会員 53 名(男性 52 名/女性 1 名)からなり、小森会長が会員より選出した 17 名の委員で運営委員会を構成しています。(運営・企画、会計、事務局の 3 部門と 2 チーム)

活動場所: 青島科技大学グラウンド

活動時間: 毎週日曜日午前 8 時 15 分～正午

年会費 : 男性 700 元、女性 350 元、学生 300 元、未成年 200 元、
家族・夫婦 1000 元

2. 年間活動

今年も 2 チーム制でリーグ戦を実施することとし 1 月のドラフト会議で本戦を戦う 2 チームの選手を決定し 3/19 に開幕戦、11/12 を最終戦とした 9 ヶ月に及ぶ青島ソフトボールリーグ戦 2017 を開催しました。

毎週日曜日に総当たり戦 2 試合を実施、各チームが計 49 試合を消化し 11/12 の優勝決定戦を経て 2017 年度優勝チームを決定しました。12/3 に優勝チームと優勝選手の表彰を同好会総会にて実施しています。

3. 特別活動

6/25 に毎年恒例の黄島チームとの交流戦を実施しました。また、7/16 には海洋大学女子チーム、黄島星火混成チームとの中国人チームとの交流戦を実施しました。

11 月には上海で開催される華東大会に参加しました。今年は 1、2 部リーグに焼酎チームと昨年 3 部リーグで優勝した清酒チームの 2 チームで参加しました。昨年ベスト 4 の無念を晴らすためベストメンバーで望んだ大会でしたが今年も両チームベスト 4 という悔しい結果に終わりました。この他、懇親会やゴルフコンペ、BBQ など多彩な行事を開催し

ました。また、日本人会主催の活動にも参加・協力しました。

- 1月 ドラフト会議／新年会
- 3月 オープン戦／前期開幕戦／プレイボールパーティ
- 6月 前期終了／BBQパーティ／黄島チーム交流戦
- 7月 後期開幕／中国人チーム交流戦／ゴルフコンペ
- 10月 ゴルフコンペ／20周年記念イベント(大阪)
- 11月 後期終了／優勝決定戦／
華東大会 1・2部リーグ(焼酎チーム、清酒チームベスト4)
- 12月 同好会納会／忘年会

2017年度は帰任・異動に伴い10人の方の壮行会を行いました、11人の新入会員を迎え会員は昨年度対比1名増加しました。これは会員の努力もさることながら、日本人会や各企業様のご支援のおかげと感謝いたします。ありがとうございました。2018年度も笑顔の絶えない明るく楽しい魅力的な同行会活動を推進していきます。

《ヨット同好会》

代表:西垣健作

会員:大人13名、子ども9名

1. 同好会概要

本同好会は青島日本人会の目的・規約と精神に則り、青島に在住する日本人のヨット活動を通じ会員相互の親睦を図り、健康と余暇の充実に寄与することを目的としています。

場所は青島オリンピックマリーナを主なエリアとし、週末船をレンタル、スクールレッスンを中心に活動しています。練習を通じセーリング技術の向上、体力作りをメンバー皆で楽しく行っています。

大人はディンギー(キャビンのない船)だけでなく、クルーザーレースにも参加を予定しています。

子どもたちはヨットスクールで様々な国籍の子供たちと一緒にセーリングを楽しんでいます。

メンバーは随時募集しています。6月には無料のヨット体験会開催を予定していますので興味のある方は大人、子ども問わずご参加ください。

2. 年間活動報告

- 4月 経験者(大人、子供)活動開始
- 5月 初参加メンバーの為のヨット体験会開催
- 6月-7月 子どもヨット教室活動開始(OPビギナー、OPアドバンス)
各チーム3-4名に分かれ毎週末活動を行うクラブ内レース参加
- 8月 夏休み中、子どもたちは個人的にスクールに参加
- 9月-10月 子どもヨット教室(秋の部)活動開始
- 10月 マリーナ大規模補修の為、活動終了

12月 懇親会、忘年会開催

3. 2018年度の目標

- 子供達はディンギーレッスンを通じ海、天候、船の構造を学びヨットを楽しむ
- 大人はディンギーでの個人レッスン、レース参加

《写真同好会》

会長:大石純 事務局長:田村進一

1. 同好会概要

写真同好会では青島キヤノン様のサポートを受けて、毎月一回定例会(金曜の夜)を開催しています。撮影課題(テーマ)を決めて撮影した写真を持ちよって鑑賞評価を行い、入賞作品は青島日本人会HP「月刊青島」及びフリー雑誌「こみゆにけーしょん」「すまいる青島」等に掲載されます。

2. 活動報告

青島日本人学校運動会や新年会等では撮影協力をさせていただきました。

定例会では、持ち寄った作品の感想を述べあったり、撮影方法、撮影の苦労話等でおなじ趣味の仲間たちで、楽しく開催しております。

不定期ですが、撮影会や撮影旅行を予定しております。

携帯写真でも構いませんが、写真撮影にご興味のある方のご参加をお待ちしております。

月例開催日	開催地	月例会テーマ		
4月14日	キヤノン青島事務所	乗り物	白黒	自由
5月12日	キヤノン青島事務所	路地	桜	自由
6月12日	キヤノン青島事務所	初夏	影	自由
7月10日	キヤノン青島事務所	スローシャッター	小動物	自由
8月 7日	キヤノン青島事務所	夏	携帯	自由
9月11日	キヤノン青島事務所	飲み物	携帯	自由
10月13日	キヤノン青島事務所	秋	灯り、明かり	自由
11月13日	キヤノン青島事務所	秋	波	自由
12月11日	キヤノン青島事務所	晩秋	食べ物	自由
1月12日	キヤノン青島事務所	正月	地下鉄	自由
2月 7日	キヤノン青島事務所	冬	携帯	自由
3月 9日	キヤノン青島事務所	春節	携帯	自由

《卓球同好会》

会員 18名(2018年3月現在)

1. 同好会活動目的

- ① 卓球を通じて、広く青島に住む日本人の親睦を深め、その身体面・精神面における健やかな生活に寄与する。
- ② 卓球を通じて中国人及び青島に在住するその他の国の卓球愛好者との交流を進める。

2. 日常の活動

定例練習日:

毎週水曜日 18:30-20:30

毎週土曜日 16:00-19:00

会費の徴収:

会費としては、場所代として当日参加者から、水曜日は1人あたり20元、土曜日は1人あたり30元を徴収。定額の年会費といったものは徴収しない。定例練習以外に、有志による自由練習及びコーチについての練習もあり。これも参加者がそのつど場所代又はコーチ代を負担する

3. 2017年度に実施したイベント

- ① 2017年8月 第4回青島国際商会杯卓球大会に青島日本人チームとして参加
- ② 2018年3月 青島国際貿易促進委員会卓球クラブと交流試合
- ③ 2018年3月 青島韓国人卓球クラブと交流試合

このほか、帰任・転勤のため青島を離れるメンバーがいる場合、その都度新しいアイディアを盛り込んだイベント試合を実施しています。毎年参加している、在中国日本人卓球クラブの合宿には、残念ながら今年度は参加できませんでした。

4. 2017年度の総括

2017年度は他の地方との交流という面では2016年度より成果が少なめであったかと思えます。その反面、日本人卓球クラブ以外(中国人クラブ、韓国人クラブ)との交流という点からみると、従来に比して活発に行動した年になったかと思えます。毎年夏の恒例となった青島国際商会杯では、上海や蘇州の日本人クラブにも参加を呼びかけ、大会の拡大にいくらかのお手伝いをしました。また、上記の中国人クラブ、韓国人クラブともこの大会を通じて知り合ったものです。

5. 2018年度の目標

会の規約にも謳っていますように、参加される皆様の健やかな生活に寄与することが同好会の最大の目的です。といいながら、2017年度は既存メンバーで楽しむことに重点を置きすぎて、試しに参加してみようと思われた方へのフォローが十分でなかったようにも感じられます。青島で卓球をやってみようと思われる方の動機は様々ですので、勝負に賭けたい人にも、またただ身体を動かしたいだけの人にも楽しんでいただけるような同好会にしたいと思っております。

(4) 2017 年度青島日本人学校運営理事会 活動報告

青島日本人学校運営理事会

理事長 藤井伸明

副理事長 岩崎克彦

日頃より青島日本人学校の運営にご理解とご協力を頂き誠に有難うございます。

2000 年開校の補習授業校時代を経て 2004 年に創立した青島日本人学校は、2008 年に現在の新校舎が完成しました。2017 年 4 月に金森孝子校長が着任し、前・登喜龍一郎校長の学校経営方針を踏襲しながらも、学力・体力テストや英会話・英語活動等において独自の取り組みや工夫を早々と取り入れました。大変充実した学習環境の下、教育目標である「豊かな心を持ち、自ら学び鍛える、たくましい児童生徒の育成」、中期目標である「日本を俯瞰できる眼をもち、切磋琢磨する児童生徒の育成」の実現に向け、日本全国から集まった個性溢れ教育に熱心な教職員と共に、青島の地域性を活かした教育課程を編成し、日中の自然、歴史、伝統、文化、生活習慣を身につけた国際性豊かな児童・生徒の育成を行っています。

また、当校の大きな特徴として児童・生徒たちは学年の垣根を越えた友情を育み、青島現地校生、室蘭市・下関市小中学生、また当日本人会会員とも課外活動や日本人会イベント、職場体験・キャリア教育等を通じた交流を深めています。昨年秋には日本柔道連盟会長・元オリンピック金メダリストである山下泰裕氏を迎え「夢への挑戦」についての講演会も開催されました。現代社会でますます重要視されている人と人との結びつき・コミュニケーション力の具備において得がたい経験をしています。

昨年度、日中首脳会談は複数回に及び、国交正常化 45 周年記念イベントも盛んに開催されるなど漸く日中関係改善の兆しも見られるようになりました。また深刻化していた大気汚染についても政府が打ち出した様々な環境規制により軽減が図られました。生徒数は 1 学期始業式時点の 73 名(小学部 64 名、中学部 9 名)からスタートし、9 月末時点で 84 名(同 72 名、12 名)となり、3 学期終了時点で 77 名(同 66 名、11 名)に落ち着いたものの生徒数減少傾向には歯止めがかかりました。これにより学校財政については、学費収入に加え日本国政府からの補助金、皆様のご厚意による寄付(青島日本人会会員、個人等による任意寄付金、各種行事における寄付他)も頂き、本年度も健全性が保たれました。

同時に、中国政府の増値税改革に起因した増値税や文部科学省派遣教員の個人所得税等の新たな課題に対して、在青島日本国総領事館や関係者のご協力を得て肅々と対応致しました。成果・結論が出るには時間がかかりそうですが、引き続き粘り強く対応していく所存です。

2018 年度、当学校運営理事会は新体制にて学校運営に真摯に取り組む所存です。青島日本人会・会員の皆様の変わらぬご支援を賜りたく、お願い申し上げます。

【主な活動実績・決議事項】

■ 活動内容

- ・ 青島日本人学校運営上の重要事項の審議・決議
- ・ 各種報告(校務、財務、PTA、通学バス運営委員会、校舎管理事務室他)
- ・ 学校を取り巻く様々な課題への対応

■ 活動実績

- ・ 運営理事会開催(年 10 回)

- ・ 主催行事・活動
 - ✓ 青島日本人学校派遣教員歓迎会(4月)
 - ✓ 青島日本人学校運営状況説明(2月、入学説明会)
 - ✓ 青島日本人学校帰任職員送別会(3月)

【学校案内】

名 称:青島日本人学校 <http://www.qingdaojs.org/>

校 長:金森 孝子(2017年4月着任)

教職員:文部科学省派遣教員(校長含む)9名、現地採用教員3名、
事務職員3名

住 所:青島市市北区同安路56号

学 費:入学金15,000元、授業料5,000元/月
(別途、スクールバス・PTA会費他)

第2号議案

2017年度会計報告

2017年4月1日～2018年3月31日

(単位：人民元)

収入の部		支出の部	
1. 前年度繰越金	466,598	1. 事務局費	278,932
		2. 商工会活動費	51,119
		全体会	34,350
2. 2017年度会費収入	676,800	部会	12,069
法人会員	670,600	地区分科会	4,700
個人会員	6,200	3. 生活文化関連費	90,857
		婦人会	3,000
3. 臨時会費収入	111,640	ちんたお文庫	40,228
・総会懇親会会費	39,500	運動会	150
・新年会会費	72,140	月刊青島	12,000
		歴史保存会	0
4. 銀行利子	10,610	納涼会	21,841
		公認同好会支援	13,638
		社会奉仕	0
		4. 会議費	120,545
		総会	41,950
5. その他(寄付など)	50	新年会	78,595
		5. 日本人学校支援費	0
		6. ジャパンデー等文化催事	25,015
		7. 情報整理(HP改修等)	0
		8. 次年度繰越金	699,230
		(学校支援金 20 万元含む)	
【 合計 】	1,265,698	【 合計 】	1,265,698


第3号議案


監査報告

青島日本人会規約に規則り、第27期(2017年4月1日～2018年3月31日)の会計検査を関係帳簿、信憑書類に基づいて実施したところ、全て厳正に処理されていることを確認いたしました。

2018年4月10日

青島日本人会 監事

中川伊正 

吉塩和明 

第4号議案

2018年度 青島日本人会 理事及び監事(案)

	名前	所属企業名	職位
理事	青木 功	青島嘉都麗時裝有限公司	総経理
理事	井上 薫	青島聯合包装有限公司	総経理
理事	猪子 悟史	華夏世嘉(青島)娛樂遊藝有限公司	総経理
理事	岩崎 克彦	日本興亜財産保険(中国)有限責任公司 山東分公司	総経理
理事	川田 正博	株式会社山口銀行 青島支店	支店長
理事	吉川 宙	みずほ銀行(中国)有限公司 青島支店	支店長
理事	小松 宏彦	新日清制粉食品(青島)有限公司	董事長
理事	酒井 康雄	依摩泰(青島)商貿有限公司	総経理
理事	佐藤 冬樹	三菱東京日聯銀行(中国)青島分行	支店長
理事	重岡 佐知子	日鉄住金物産(上海)有限公司 青島分公司	支店長
理事	杉田 貴史	カケンテストセンター青島試験室	室長
理事	武田 裕之	青島新東機械有限公司	総経理
理事	能勢 稔彦	伊藤忠(青島)有限公司	総経理
理事	端 彰一郎	東麗医療科技(青島)股份有限公司	総経理
理事	廣田 至夫	全日本空輸株式会社青島支店	支店長
理事	福永 護	在青島日本国総領事館	首席領事
理事	藤井 伸明	三菱商事(青島)有限公司	総経理
理事	別所 良起	青島誠誉食品検測有限公司	総経理
理事	前田 逸朗	青島松下電子部品(保税區)有限公司	総経理
理事	前田 裕之	青島日水食品研究開発有限公司	総経理
理事	松沢 隆	丸紅(青島)有限公司	総経理
理事	松村 淑子	日本貿易振興機構(JETRO)青島代表処	所長
理事	宮本 典和	青島扶桑精製加工有限公司	総経理
理事	森 賢司	日郵物流(中国)有限公司 青島分公司	総経理
監事	古塩 和明	青島亀田食品有限公司	総経理
監事	中川 伊正	青島永旺東泰商業有限公司	総経理

第5号議案

(1) 2018年度事業活動計画

青島日本人会会長
吉川 宙

1. 全般

昨年度は、商工会会長を務めさせて頂きましたが、今年度は青島日本人会会長に就任する事となりました。微力ながら青島日本人会会員の皆様のお役に立てるよう努めてまいり所存です。

ご案内の通り、2018年は、日中平和友好条約締結40周年の節目にあります。また、ここ数年日本からの対中投資が低迷しておりましたが、昨年から再度増加傾向となっており、日中間の経済交流は再び活性化してきております。

総領事館への在留届によれば、昨年青島に居住する日本人は、従来の減少トレンドから反転、増加したと聞いております。一方で日系企業におけるナショナルスタッフ登用による現地化も進行している事もあるためか、青島日本人会の会員企業減少が進行しており、我々を取り巻く青島での事業環境、生活環境は従来から変化してきています。

我々青島日本人会も、様々な外部・内部の変化へ対応しつつ、日本人会の設立趣旨、目的である「日本人および日本企業が、安全かつ快適に生活すると共に円滑な企業活動を継続」出来るよう活動して行きたいと考えます。以下の活動計画や日本人会の運営のあり方などを、現在の環境変化やニーズを汲み取りつつ活動、運営して行きたいと思っております。

また、活動計画においては、本年度も、在青島日本国総領事館、JETRO 青島事務所と緊密に連携し、地元政府機関である青島市政府や地域とのコミュニケーションを重視しつつ、日本人の生活環境、事業活動環境の整備向上のための活動を積極的に行っていきたいと思っております。会員の皆様におかれましては、更なるご支援とご協力、イベントへの積極的なご参加を宜しくお願い申し上げます。

2. 活動計画

- ① 日本人及び日本企業が、安全かつ快適に生活する、円滑な企業活動を継続する事に資するよう青島市政府機関との関係を強化し、日本人の生活環境及び企業活動環境向上のための活動を行う。
- ② 青島日本人学校の運営を通じ、家族帯同者が安心して生活できる環境を維持、整備する。
- ③ 在青島日本国総領事館との連携を通じ、緊急事態発生時の対応整備、安全情報等各種情報の収集と発信を行う。
- ④ 在青島日本国総領事館のサポートを頂き、中国内の他地域日本人会、組織との交流及び情報交換を行う。
- ⑤ 地域貢献活動を行う。
- ⑥ 他国コミュニティとの交流を行う。

(2) 商工会

商工会会長
小松 宏彦

1. 2018 年度の活動方針

3 月に北京で開催された全国人民代表大会において、習近平政権の長期化の可能性が生じる憲法改正がなされました。

就任以来、強力かつ着実に様々な分野・領域で改革を推し進めて来た習近平主席ですが、外交政策においては、覇権主義的な外交や従来の枠組みを超えた中国を中心とする国際経済圏創出の推進のほか、内政における法による統治を根本とする法整備と運用の強化、不正撲滅、各種の経済・金融政策、環境保全強化、先進技術の積極的な推進など、経済・事業活動に大きな影響を与える施策を次々と打ち出すことで高度経済成長時の負の遺産を処理しつつ、かつ、7%の経済成長を維持し、その一方で、貧困撲滅や新常态という経済ステージにおける国民生活の質的な向上を標榜するなど、多くの改革・構造改善を推し進めてきました。また、この青島では、夏に開催される国際会議の主催国として青島の街のリニューアル、というよりも改造が進められているのは皆さんもご承知のとおりです。

現在の中国政府の改革施策の実行力とそのスピードは息をのむものがありますが、これらの施策はいずれも中国で事業を展開する外資系企業の事業活動に対しても直接的、間接的に大きな影響が及ぶものであります。そして今回の憲法改正によって、この中国の加速的な変化が今後も相当の期間引き続き、そして拡大していく可能性がより高まったとも考えられ、青島において事業を展開する我々にとっては、従来以上に中国の変化、中国政府の動向を注視していく必要性が高まって来ていると思われまます。

このような中、今年度の商工会の活動につきましては、従来からの活動方針を踏襲しつつ、大きく変化する経営環境とその先を見据えた中で、会員の要望を汲み入れながら進めていきたいと考えており、事業運営に必要な法律・会計・税制・労務制度とその動向や、社会、文化、習慣等の知識向上の情報提供をするとともに、会員企業が事業運営の円滑化や、持続的な成長の実現に資する活動や、商品・サービス等の提供や雇用などを通じて、地域社会に貢献する日系企業として、国内に快く受け入れられるようお手伝いする活動、等々を進めていきたいと思ひます。

具体的には、以下の取り組みを進めていきます。

- ① 工会内の 4 つの部会における情報交換会・見学会などの実施
- ② セミナー開催を中心とした情報提供や学習の場の設置
- ③ 政府関係機関との交流を通じて、情報交換を行うとともに、地域経済・社会に深く関わる各企業の姿・活動をアピールし、理解と協力を求めること

2. 各部会活動について

商工会の部会活動は、業種・業界をベースとした、「食品部会」、「繊維部会」、「機械・電機・化学部会」及び「流通・サービス部会」の4部会に分かれて活動しておりますが、今年度も各部会は、それぞれの部会特性や置かれている経営環境などに応じて、セミナーや工場見学会の開催の他、懇親会など会員企業同士の交流の場の提供を進めてまいります。

これらの部会活動には、業種・業界の枠を超えた参加も推し進めていきたいと考えていますが、異業種間交流の場の設け方やあり方については、皆様からの意見を伺いながら進めていきたいと考えております。

3. セミナー開催について

昨年度は計7回のセミナーを開催し多くの方々にご参加いただきましたが、今年度セミナーにおきましても、多くの皆さまに参加していただけるよう、日系会員企業の皆さまへ、事業活動に必要^{and/}or 有益と思われるテーマ・内容を、JETRO との共催も含め、情報提供を行ってまいります。

4. 政府関係機関、地域社会との交流について

これまでも総領事館からの支援、JETRO との連携に加え、一部は中国政府からの協力も得ながら、青島日本人会としての政府関係機関との交流を推進し、関係を強化してまいりましたが、今年度も総領事館、JETRO との関係をさらに深め、さらに一方では会員各社の皆さまと市政府等とのパイプ役に務め、会員企業の事業活動の円滑化、あるいは抱えている問題の解決、日中経済交流の活発化、等々に対してお手伝いができればと考えております。

以上、青島日本人会商工会は、会員各社の皆さまのご意見ご要望をお聞きしながら、“皆さまの役に立てる活動”を進めていきたいと考えておりますので、一年間どうぞよろしくごお願い申し上げます。

(3) 生活文化会

生活文化会会長
森 賢司

1. 2018 年度の活動方針

青島において日本人駐在員が年々減少しているなか、日本人同士が心を通わせて、お互いにコミュニケーションを図ることができる場面を提供することを目的として活動してまいります。会員皆さま方のご意見を頂きながら、昨年度実施した内容を充実させて、子供たちの笑顔が溢れる、ご家族全員が参加しやすい行事の開催を目指していきたくと思います。また、中国に暮らす我々が地域に何か貢献できないかという観点から、社会奉仕活動について積極的に実施してまいりたいと思います。

生活文化会のメンバーも大幅に入れ替わり、心機一転、頑張っていく所存です。今年度も皆様方のご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

2. 主な活動内容

- ① 青島日本人会運動会、納涼祭り、新年会の企画実行
- ② 社会貢献活動の見直し
- ③ 特別講演会等文化行事の企画開催
- ④ ちんたお文庫運営に対する支援
- ⑤ 各同好会・婦人会への活動支援
- ⑥ 「月刊青島」を通じた青島生活情報の発信
- ⑦ 青島の文化・歴史についての調査、研究支援

(4) 青島日本人学校運営理事会

青島日本人学校運営理事会

理事長 藤井 伸明

副理事長 佐藤 冬樹

青島日本人学校は、青島日本人会が設立した、国際社会の中での将来を担う児童生徒の健やかな成長、学問習得を全力でサポートする教職員が集う素晴らしい学校です。

新年度も金森孝子校長の力強いリーダーシップの下、教育目標である「豊かな心を持ち、自ら学び鍛える、たくましい児童生徒の育成」、中期目標である「日本を俯瞰できる眼をもち、切磋琢磨する児童生徒の育成」の実現に向け、昨年度同様、日本全国から集まった個性あふれる教職員の熱心な指導の下、青島の地域性を活かした教育課程を編成し、日中の自然、歴史、伝統、文化、生活習慣を身につけた国際性豊かな児童・生徒の育成をしていくものです。

青島日本人学校運営理事会は、当校の学校活動を全面的に支援し、健全運営のための議論を活発化させ、より良き学校運営に努める所存です。

日本人学校は、中国における外国人が運営する教育施設としてステータスが定まらない問題を抱えており、このため税務面を含めた様々な課題に直面していますが、在青島日本国総領事館のご支援を得ながら、今年度もひとつひとつ粘り強く取組んでいく所存です。また、昨年度は漸く児童生徒数の微減傾向に歯止めがかかり、学校財政はひと息ついていますが、一方では国際政経情勢は日々刻々と変化を続けており、そのため再度同様の状況となる可能性も無しとは致しません。この魅力ある、素晴らしい学校を長く安定的に運営するための最善の方法を学校運営理事会としては真剣に考えていく所存です。

青島日本人学校運営理事会一同、精一杯努力して参りますので、会員企業、個人の皆様、皆様のご理解、ご支援、ご協力を何卒宜しくお願い申し上げます。
また小中学校へ就学予定のお子様を帯同される社員・職員様に対し、是非、青島日本人学校の素晴らしさについてお話し頂ければ大変ありがたく存じます。

第6号議案

2018年度予算案

(2018年4月1日～2019年3月31日)

(単位:人民元)

収入の部		支出の部	
1. 前年度繰越金 (学校運営補助金20万元含む)	699,230	1. 事務局費	229,000
		2. 商工会活動費	67,000
		全体会	35,000
		部会	32,000
		地区分科会	
2. 2018年度会費収入見込	635,000	3. 生活文化関連費	119,000
法人会員(300社*2100元)	630,000	婦人会	3,000
個人会員(25人*200元)	5,000	ちんたお文庫	40,000
		運動会	2,000
3. 臨時会費収入見込	110,000	月刊青島	12,000
・総会懇親会会費	30,000	歴史保存会	3,000
・新年会会費	80,000	納涼会	35,000
		公認同好会支援	24,000
4. 銀行利子見込	5,000	4. 会議費	140,000
		総会	35,000
		新年会	105,000
5. その他(寄付など)	0	5. 日本人学校支援費	100,000
		6. 文化関連費	30,000
		7. 情報整理(HP改修等)	15,000
		8. 次年度繰越金	749,230
【 合計 】	1,449,230	【 合計 】	1,449,230

(付表)

2017 年度青島日本人会理事異動名簿

理事会		企業名	役職	名前(敬称略)
7 月	退任	雅瑪多国際物流有限公司青島分公司	総経理	根占 浩司
	新任	依摩泰(青島)商貿有限公司	総経理	酒井 康雄
	退任	青島扶桑精製加工有限公司	総経理	大谷 典義
	新任	青島扶桑精製加工有限公司	総経理	宮本 典和
	退任	三菱東京 UFJ 銀行(中国)有限公司青島支店	支店長	室井 清孝
	新任	三菱東京 UFJ 銀行(中国)有限公司青島支店	支店長	佐藤 冬樹
	退任	獅王日用化工(青島)有限公司	工場長	今岡 清彦
	新任	青島亀田食品有限公司	総経理	古塩 和明
9 月	退任	株式会社山口銀行 青島支店	支店長	清水 雅彦
	新任	株式会社山口銀行 青島支店	支店長	川田 正博
3 月	退任	日本貿易振興機構(JETRO)青島代表処	所長	佐藤 秀二
	新任	日本貿易振興機構(JETRO)青島代表処	所長	松村 淑子
	退任	青島藤華服装有限公司	総経理	正村 匡
	新任	日鉄住金物産(上海)有限公司 青島分公司	支店長	重岡 佐知子
	退任	艾斯凱環境設備(青島)有限公司	総経理	矢部 千尋
	新任	華夏世嘉(青島)娛樂遊藝有限公司	総経理	猪子 悟史

* 顧問である遠山総領事の異動により中原邦之総領事が引き続き顧問就任(3 月)